

アメリカにおける小規模図書館と地域コミュニティ —ミシガン州チェルシー地区図書館を事例に—

原 沙那子

近年の図書館サービスでは、地域コミュニティとの連携がますます求められるようになってきている。アメリカでは、1990年代頃より小規模図書館の活動に着目した動きが見られ、個々の図書館が情報共有を図りつつ地域コミュニティに適応する独自のサービス展開を図る事を促進している。小規模図書館とは、アメリカ図書館協会（American Library Association: ALA）により、サービス対象人口 25,000 人未満の公共図書館と定義されている。

小規模図書館は、地域コミュニティとの関わりがより密接であるため、その特性をサービスに反映しやすく、それが特に表れるのがプログラムであると考えられる。そこで、本研究では、アメリカの小規模図書館を対象に、特に図書館が提供するプログラムに注目して、小規模図書館と地域コミュニティとの関わりについて明らかにすることを目的とする。

本研究ではまず、小規模図書館の活動に着目した動向について概観した。図書館運営を支援する動向には、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団（Bill and Melinda Gates Foundation）が提携する WebJunction や MaintainIT、アメリカ最優秀小規模図書館賞、また地方・小規模図書館協会（Association for Rural and Small Libraries: ARSL）などがある。これらの活動は、図書館や他機関のスタッフを結びつけ、個々の経験的知識を共有することによって図書館サービスの発展を促している。これは、人員・資源・資金・設備などの点で制限が大きい小規模図書館にとって、必要な情報や知識などを容易に入手できる手段となっており、その発展を支えることにつながっており、情報や資源、アイデアを参考に地域コミュニティのニーズに応じたサービスを展開することを可能としている。

小規模図書館と地域コミュニティとの関わりについて具体的な考察を行うために、チェルシー地区図書館を取り上げ、現地調査及びインタビュー調査を行った。同館は、多彩なプログラムの提供を通して地域コミュニティと緊密な関係を築いたことが評価され、2008年のアメリカ最優秀小規模図書館賞を受賞した。同館が設置されているミシガン州では、地区図書館設置法に基づく地区図書館制度が設けられている。こうした法制度は、州内の全公共図書館のうち約 8 割が小規模図書館であるミシガン州にとって、サービス拡大の可能性を広げるものであり、同時に地域コミュニティとの関連性を深めるものとなっている。

ミシガン州チェルシー地区図書館の館長であるビル・ハーマー（Bill Harmer）氏へのインタビューから、チェルシー地区図書館では地域コミュニティのニーズに関する調査を適宜行い、その把握に努めていることが分かった。そして、それは、読書支援にとどまらない幅広く多様なプログラムの提供という形で反映されている。その背景には、次のような考えがある。すなわち、地域コミュニティに適応する効果的なプログラムの実践が、地域コミュニティのもつ図書館へのイメージを改善させ、図書館への認識を高める効果を及ぼす。そして、図書館と地域コミュニティの関係を深め、地域コミュニティからの支持を増し加えるものとなり、図書館の安定した財政基盤や地域コミュニティのなかでの図書館の立場を確固たるものにするのである。（指導教員 呑海沙織）